



2021年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年11月5日

上場会社名 キッコーマン株式会社

上場取引所 東

コード番号 2801 URL <https://www.kikkoman.com/jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 堀切 功章

問合せ先責任者 (役職名) コーポレートコミュニケーション部長 (氏名) 臼井 一起

TEL 03-5521-5811

四半期報告書提出予定日 2020年11月13日

配当支払開始予定日

2020年12月4日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	227,522	1.8	21,250	1.3	21,127	2.0	14,620	4.4
2020年3月期第2四半期	231,624	2.4	20,986	4.6	21,554	7.8	15,289	6.7

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 13,972百万円 (77.8%) 2020年3月期第2四半期 7,859百万円 (66.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	76.16	
2020年3月期第2四半期	79.64	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	391,448	287,496	72.1
2020年3月期	387,329	277,757	70.3

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 282,305百万円 2020年3月期 272,434百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		21.00		21.00	42.00
2021年3月期		21.00			
2021年3月期(予想)				21.00	42.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	463,800	1.0	39,500	0.8	39,100	0.1	26,600	0.0	138.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料12ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	193,883,202 株	2020年3月期	193,883,202 株
期末自己株式数	2021年3月期2Q	1,909,866 株	2020年3月期	1,908,731 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	191,974,013 株	2020年3月期2Q	191,976,914 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料6ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

(1) 第2四半期決算補足説明資料は、TDnetで本日開示するとともに、当社ウェブサイトにも掲載しています。

(2) 第2四半期決算説明会資料は、当社ウェブサイトに掲載しています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	6
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	9
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	9
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	10
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	12
(追加情報)	12
(セグメント情報)	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期における世界経済は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響により、依然として厳しい状況にありました。

当社グループにおいても、各地域でその影響が生じました。当社グループの売上は、国内については、しょうゆ、食品、酒類共に前年同期に及ばず、飲料は堅調に推移したものの、食料品製造・販売事業全体で前年同期を下回りました。海外については、食料品製造・販売事業は前年同期を上回ったものの、食料品卸売事業は前年同期を下回りました。

その結果、当第2四半期の連結業績は次の通りとなりました。

<連結業績>

(単位:百万円, %)

区 分	前年同四半期		当第2四半期		対前年同四半期			為替差	為替差除	
	2019年4月1日～ 2019年9月30日		2020年4月1日～ 2020年9月30日		金額	%	売上 比差		金額	%
	金額	売上比	金額	売上比						
売 上 高	231,624	100.0	227,522	100.0	△4,101	98.2	—	△2,832	△1,269	99.5
営 業 利 益	20,986	9.1	21,250	9.3	263	101.3	0.2	△394	658	103.1
経 常 利 益	21,554	9.3	21,127	9.3	△427	98.0	△0.0	△377	△49	99.8
親会社株主に帰属 する四半期純利益	15,289	6.6	14,620	6.4	△668	95.6	△0.2	△278	△389	97.5
USD	109.00		106.68		△2.32					
EUR	121.43		121.36		△0.07					

<報告セグメント>

(単位:百万円, %)

区 分	前年同四半期		当第2四半期		対前年同四半期			為替差	為替差除		
	2019年4月1日～ 2019年9月30日		2020年4月1日～ 2020年9月30日		金額	%	売上 比差		金額	%	
	金額	売上比	金額	売上比							
国内 食料品製造 ・販売	売 上 高	91,600	100.0	89,453	100.0	△2,147	97.7	—	—	△2,147	97.7
	営業利益	6,577	7.2	5,828	6.5	△748	88.6	△0.7	—	△748	88.6
国内 その他	売 上 高	10,635	100.0	10,474	100.0	△160	98.5	—	—	△160	98.5
	営業利益	916	8.6	831	7.9	△84	90.8	△0.7	—	△84	90.8
海外 食料品製造 ・販売	売 上 高	47,525	100.0	50,052	100.0	2,527	105.3	—	△966	3,493	107.4
	営業利益	9,759	20.5	10,722	21.4	963	109.9	0.9	△211	1,175	112.0
海外 食料品卸売	売 上 高	96,463	100.0	92,149	100.0	△4,314	95.5	—	△1,970	△2,343	97.6
	営業利益	4,495	4.7	4,591	5.0	96	102.1	0.3	△152	248	105.5
調整額	売 上 高	△14,601	100.0	△14,607	100.0	△5	—	—	105	△111	—
	営業利益	△762	—	△724	—	37	—	—	△30	68	—
四半期連結 損益計算書 計上額	売 上 高	231,624	100.0	227,522	100.0	△4,101	98.2	—	△2,832	△1,269	99.5
	営業利益	20,986	9.1	21,250	9.3	263	101.3	0.2	△394	658	103.1
USD	109.00		106.68		△2.32						
EUR	121.43		121.36		△0.07						

各事業別セグメントの業績の概要は次の通りであります。

【国内】

国内における売上の概要は次の通りであります。

(国内 食料品製造・販売事業)

当事業は、しょうゆ部門、つゆ・たれ・デルモンテ調味料等の食品部門、豆乳飲料・デルモンテ飲料等の飲料部門、みりん・ワイン等の酒類部門からなり、国内において当該商品の製造・販売を手がけております。各部門の売上の概要は次の通りであります。

当四半期は、新型コロナウイルス感染症の影響により、家庭内需要が増加し、外食産業が急速に冷え込んだために加工・業務用分野の需要が減少しました。

■しょうゆ部門

しょうゆは、家庭用分野では、「いつでも新鮮」シリーズが更に売上を伸ばし、「特選丸大豆しょうゆ」などのペットボトル品も前年同期を上回りました。加工・業務用分野は、前年同期を下回りました。この結果、部門全体としては前年同期の売上を下回りました。

■食品部門

つゆ類は、「濃いだし本つゆ」を中心に好調に推移したため、全体として前年同期を上回りました。たれ類は、主力商品である「わが家は焼肉屋さん」シリーズが好調に推移したものの、加工・業務用分野が苦戦したことにより、前年同期を下回りました。「うちのごはん」は、新型コロナウイルス感染症の影響による急激な需要拡大を受け、主力品の供給を優先すべく一部商品の休売を実施、販売促進自粛の影響もあり、前年同期を下回りました。デルモンテ調味料は、家庭用分野が伸長したものの、加工・業務用分野が減少し、前年同期を下回りました。この結果、部門全体としては、加工・業務用分野が前年同期を下回ったため、前年同期の売上を下回りました。

■飲料部門

豆乳飲料は、健康志向の高まりを背景に無調整豆乳が伸長し、飲用だけでなく料理素材として豆乳を使う消費者も増え、また家庭内需要の増加により1L容器を中心として売上が伸び、前年同期の売上を上回りました。デルモンテ飲料は、無塩野菜ジュースなどの野菜ジュースが堅調に推移したものの、トマトジュース、果汁飲料が振るわず、前年同期の売上を下回りました。この結果、部門全体として前年同期の売上を上回りました。

■酒類部門

本みりんは、家庭内需要の増加もあり、家庭用分野では、高付加価値商品の「米麴こだわり仕込み本みりん」や「濃厚熟成本みりん」などが売上を伸ばしましたが、加工・業務用分野で大型容器が減少したため前年同期を下回りました。ワインは、ホテル・レストラン需要の減少により加工・業務用分野が前年同期を下回り、前年同期の売上を下回りました。この結果、部門全体として前年同期の売上を下回りました。

以上の結果、国内 食料品製造・販売事業の売上高は894億5千3百万円（前年同期比97.7%）、営業利益は58億2千8百万円（前年同期比88.6%）と減収減益となりました。

(国内 その他事業)

当事業は、臨床診断薬・衛生検査薬・加工用酵素、ヒアルロン酸等の化成品等の製造・販売、不動産賃貸及び運送事業、グループ会社内への間接業務の提供等を行っております。

化成品等は、臨床診断薬やヒアルロン酸は前年同期を下回ったものの、衛生検査薬が伸長し、前年同期の売上を上回りました。運送事業は前年同期を下回りました。この結果、部門全体として前年同期の売上を下回りました。

この結果、国内 その他事業の売上高は104億7千4百万円（前年同期比98.5%）、営業利益は8億3千1百万円（前年同期比90.8%）と、減収減益となりました。

【海外】

海外における売上の概要は次の通りであります。

海外でも、家庭用分野では、新型コロナウイルス感染症の影響により家庭内需要が増加しました。一方で業務用分野では、外食産業が急速に冷え込み、業務用需要が減少しました。

(海外 食料品製造・販売事業)

当事業は、しょうゆ部門、デルモンテ部門、海外における健康食品等のその他食料品部門からなり、海外において当該商品の製造・販売を手がけております。各部門の売上の概要は次の通りであります。

■しょうゆ部門

北米市場においては、家庭用を中心に主力商品であるしょうゆに加え、しょうゆをベースとした調味料などの拡充に引き続き力を入れており、当社のブランド力を活かした事業展開を行ってまいりました。この結果、全体としては前年同期の売上を上回りました。

欧州市場においては、主要市場であるイギリス、ドイツなどで売上を伸ばし、前年同期の売上を上回りました。

アジア・オセアニア市場においては、中国市場では新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、前年同期の売上を下回りました。一方で、東南アジア、オーストラリアでは売上を伸ばし、全体としては前年同期を下回りました。

この結果、部門全体では前年同期の売上を上回りました。

■デルモンテ部門

当部門は、アジア・オセアニア地域で、フルーツ缶詰・コーン製品、トマトケチャップ等を製造・販売しております。

部門全体で前年同期の売上を上回りました。

■その他食料品部門

当部門は、主に北米地域において、健康食品を製造・販売しております。

部門全体で前年同期の売上を上回りました。

以上の結果、海外 食料品製造・販売事業の売上高は500億5千2百万円（前年同期比105.3%）、営業利益は107億2千2百万円（前年同期比109.9%）と、増収増益となりました。

(海外 食料品卸売事業)

当事業は、国内外において、東洋食品等を仕入れ、販売しております。

北米では、外出自粛等により外食産業全体の減少が大きく、前年同期を下回りました。

また、欧州も同様の理由により前年同期を下回りました。

アジア・オセアニアは、当第2四半期より台湾のグループ会社を新規で連結対象としたため、前年同期を上回りました。この結果、卸売事業全体では、前年同期の売上を下回りました。

この結果、海外 食料品卸売事業の売上高は921億4千9百万円（前年同期比95.5%）、営業利益は45億9千1百万円（前年同期比102.1%）と、減収増益となりました。

以上の結果、当第2四半期の連結業績は、売上高は2,275億2千2百万円（前年同期比98.2%）、営業利益は212億5千万円（前年同期比101.3%）、経常利益は211億2千7百万円（前年同期比98.0%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は146億2千万円（前年同期比95.6%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

1. 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は、1,654億4千8百万円となり、前連結会計年度末に比べ59億8百万円増加いたしました。これは主に、受取手形及び売掛金、商品及び製品が減少したものの、現金及び預金が増加したことによるものであります。固定資産は、2,260億円となり、前連結会計年度末に比べ17億8千8百万円減少いたしました。これは主に、機械装置及び運搬具(純額)、建物及び構築物(純額)が減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、3,914億4千8百万円となり、前連結会計年度末に比べ41億1千9百万円増加いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は、576億5千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ41億3千7百万円減少いたしました。これは主に、未払金が減少したことによるものであります。固定負債は、462億9千8百万円となり、前連結会計年度末に比べ14億8千1百万円減少いたしました。これは主に、退職給付に係る負債が減少したことによるものであります。

この結果、負債の部は、1,039億5千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ56億1千9百万円減少いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産の部は、2,874億9千6百万円となり、前連結会計年度末に比べ97億3千9百万円増加いたしました。これは主に、利益剰余金が増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は72.1%(前連結会計年度末は70.3%)となりました。

2. キャッシュ・フローの状況

当第2四半期における現金及び現金同等物の四半期末残高は、前連結会計年度末に比べ99億4千5百万円増加し、380億4千9百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における活動ごとのキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、270億4千9百万円の収入となり、前第2四半期連結累計期間に比べ77億7千4百万円収入増でありました。これは主に、たな卸資産や売上債権の減少による収入が前第2四半期連結累計期間に比べ増加したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、92億7千万円の支出となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、75億9千9百万円の支出となりました。これは主に、配当金の支払があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大により、感染防止のための外出規制や自粛、経済活動の再開時期など、各国の状況が不透明であったことから連結業績予想を未定としておりました。

新型コロナウイルス感染症が今後どのように収束へ向かうか、いまだ不透明ではありますが、業績影響に関して、ある程度の見通しが立つようになったことから、今後、期初に見られたような大規模な経済活動規制等が起こらないことを前提として、2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)を以下の通りといたしました。

(通期)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
今回発表予想	百万円 463,800	百万円 39,500	百万円 39,100	百万円 26,600	円 銭 138.56
(ご参考) 前年同期(2020年3月期)	468,616	39,826	39,078	26,595	138.53
(ご参考) 前年同期増減額	△4,816	△326	21	4	—
(ご参考) 前年同期増減率(%)	△1.0	△0.8	0.1	0.0	—

※ 為替レート的前提 今回発表予想 通期 USD 105.4円 EUR 122.6円

今後も、しばらくは新型コロナウイルス感染症の影響が継続し、世界経済は厳しい状況が続くものと思われませんが、感染防止と経済活動の両立が図られていくことにより、外食産業などの業務用分野の需要は、前年の水準には戻らないものの、緩やかに回復し、一方で家庭用分野の需要の高まりは徐々に落ち着く傾向になると想定し、連結業績予想を算定しております。

今後、新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況等が変化し、業績に与える影響が大幅に変動すると見込まれる場合には、連結業績予想の修正を適切に公表してまいります。

また、未定としておりました2021年3月期の期末配当予想につきましては、1株当たり21円といたします。中間配当と合計した年間配当予想については、1株当たり42円となります。引き続き、連結配当性向30%以上を目標とし、安定配当を重視したいと考えています。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	30,088	40,411
受取手形及び売掛金	61,145	58,373
有価証券	—	220
商品及び製品	43,255	41,637
仕掛品	11,798	11,690
原材料及び貯蔵品	5,901	6,213
その他	8,543	7,801
貸倒引当金	△1,192	△899
流動資産合計	159,540	165,448
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	55,200	54,450
機械装置及び運搬具(純額)	44,751	43,763
土地	20,900	20,748
リース資産(純額)	15,841	15,075
建設仮勘定	7,705	7,597
その他(純額)	4,669	4,403
有形固定資産合計	149,067	146,039
無形固定資産		
のれん	4,164	3,860
その他	5,004	4,840
無形固定資産合計	9,168	8,701
投資その他の資産		
投資有価証券	57,672	58,665
長期貸付金	1,881	2,087
退職給付に係る資産	4,934	5,886
繰延税金資産	3,416	3,521
その他	3,799	3,242
貸倒引当金	△2,153	△2,143
投資その他の資産合計	69,552	71,260
固定資産合計	227,788	226,000
資産合計	387,329	391,448

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	23,414	22,938
短期借入金	5,311	3,506
リース債務	2,437	2,471
未払金	19,249	15,371
未払法人税等	3,297	3,718
賞与引当金	2,662	2,990
役員賞与引当金	129	63
その他	5,288	6,592
流動負債合計	61,791	57,653
固定負債		
長期借入金	13,602	13,400
リース債務	13,997	13,570
繰延税金負債	6,847	7,242
役員退職慰労引当金	732	697
環境対策引当金	31	3
退職給付に係る負債	7,243	6,021
その他	5,326	5,363
固定負債合計	47,780	46,298
負債合計	109,571	103,952
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,599	11,599
資本剰余金	13,695	13,695
利益剰余金	244,044	254,632
自己株式	△3,641	△3,647
株主資本合計	265,697	276,279
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14,012	14,505
繰延ヘッジ損益	△0	△0
為替換算調整勘定	△4,376	△6,982
退職給付に係る調整累計額	△2,898	△1,496
その他の包括利益累計額合計	6,736	6,025
非支配株主持分	5,322	5,191
純資産合計	277,757	287,496
負債純資産合計	387,329	391,448

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	231,624	227,522
売上原価	140,083	137,378
売上総利益	91,541	90,143
販売費及び一般管理費	70,554	68,893
営業利益	20,986	21,250
営業外収益		
受取利息	141	77
受取配当金	548	579
持分法による投資利益	111	80
受取賃貸料	354	362
為替差益	1,986	1,502
デリバティブ評価益	6	14
その他	966	1,027
営業外収益合計	4,115	3,644
営業外費用		
支払利息	246	244
為替差損	124	107
デリバティブ評価損	910	630
その他	2,265	2,786
営業外費用合計	3,547	3,768
経常利益	21,554	21,127
特別利益		
有形固定資産売却益	—	51
投資有価証券売却益	148	805
特別利益合計	148	856
特別損失		
固定資産減損損失	—	1,170
固定資産除却損	162	33
投資有価証券評価損	—	21
特別損失合計	162	1,225
税金等調整前四半期純利益	21,540	20,757
法人税等	6,012	5,899
四半期純利益	15,528	14,857
非支配株主に帰属する四半期純利益	239	236
親会社株主に帰属する四半期純利益	15,289	14,620

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	15,528	14,857
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,731	464
繰延ヘッジ損益	7	△0
為替換算調整勘定	△5,878	△2,779
退職給付に係る調整額	△54	1,412
持分法適用会社に対する持分相当額	△11	16
その他の包括利益合計	△7,668	△885
四半期包括利益	7,859	13,972
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,629	13,915
非支配株主に係る四半期包括利益	230	56

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	21,540	20,757
減価償却費	8,079	8,736
固定資産減損損失	—	1,170
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	12	△34
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△599	△320
受取利息及び受取配当金	△690	△656
支払利息	246	244
持分法による投資損益 (△は益)	△111	△80
有形固定資産売却損益 (△は益)	△15	△69
投資有価証券売却損益 (△は益)	△148	△805
有形固定資産除却損	278	210
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	21
売上債権の増減額 (△は増加)	921	2,813
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,460	1,712
仕入債務の増減額 (△は減少)	133	△1,129
その他	△3,196	210
小計	24,989	32,782
利息及び配当金の受取額	717	667
利息の支払額	△248	△243
法人税等の支払額	△6,183	△6,157
営業活動によるキャッシュ・フロー	19,275	27,049
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△13,819	△8,762
有形固定資産の売却による収入	21	89
無形固定資産の取得による支出	△532	△559
投資有価証券の取得による支出	△3,293	△773
投資有価証券の売却による収入	150	920
貸付けによる支出	△547	△399
貸付金の回収による収入	321	188
その他	477	27
投資活動によるキャッシュ・フロー	△17,222	△9,270
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△54	△1,990
リース債務の返済による支出	△1,261	△1,433
自己株式の取得による支出	△6	△17
配当金の支払額	△4,032	△4,032
非支配株主への配当金の支払額	△224	△125
その他	△1	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,582	△7,599
現金及び現金同等物に係る換算差額	△683	△234
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△4,212	9,945
現金及び現金同等物の期首残高	27,509	28,103
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	135	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	23,432	38,049

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱いの適用)

当社及び一部の国内連結子会社は、「所得税法等の一部を改正する法律」(令和2年法律第8号)において創設されたグループ通算制度への移行及びグループ通算制度への移行にあわせて単体納税制度の見直しが行われた項目については、「連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱い」(実務対応報告第39号 2020年3月31日)第3項の取扱いにより、「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2018年2月16日)第44項の定めを適用せず、繰延税金資産及び繰延税金負債の額について、改正前の税法の規定に基づいております。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年9月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	国内 食料品製 造・販売	国内 その他	海外 食料品製 造・販売	海外 食料品 卸売	計		
売上高							
外部顧客への売上高	90,560	3,521	41,297	96,244	231,624	—	231,624
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,039	7,113	6,228	219	14,601	△14,601	—
計	91,600	10,635	47,525	96,463	246,225	△14,601	231,624
セグメント利益	6,577	916	9,759	4,495	21,749	△762	20,986

(注) 1. セグメント利益の調整額 △762百万円は、主に全社費用配賦差額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日 至2020年9月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	国内 食料品製 造・販売	国内 その他	海外 食料品製 造・販売	海外 食料品 卸売	計		
売上高							
外部顧客への売上高	87,970	3,619	44,025	91,907	227,522	—	227,522
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,482	6,855	6,027	242	14,607	△14,607	—
計	89,453	10,474	50,052	92,149	242,129	△14,607	227,522
セグメント利益	5,828	831	10,722	4,591	21,975	△724	21,250

(注) 1. セグメント利益の調整額 △724百万円は、主に全社費用配賦差額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。